

乳がん自己検診用手袋の配付について

乳がんは日本人女性の15人に一人が発症するといわれています。わが国の平成25年の乳がん死亡数は女性約13,000人で、女性ではがん死亡全体の約9%を占め、女性のがん罹患全体の約20%を占めるといわれています。

年齢階級別罹患率でみた女性の乳がんは、30歳代から増加をはじめ、40歳代後半から50歳代前半でピークを迎え、その後は次第に減少します。

乳がんは、自分で発見できる唯一の癌といわれており、早期発見の場合は、治癒率は約90%といわれています。

このため、早期発見には検診とともに自己検診が重要なポイントとなります。

なお、この自己検診用手袋は確実に乳がんが発見できるものではなく、素手で行うより少し発見しやすい程度のもので考えてください。

少しでも乳がんの早期発見の一助となるように自己検診用手袋を配付します。

- ・配付対象 30歳から65才までの女性の被保険者
ただし、令和2年3月31日に40歳以上の被保険者は、令和2年度に①特定健診、②一般健康診断（個別、集合）、③人間ドックを受診された方のみにお送りします。
- ・配付時期 令和2年8月以降
- ・申込方法 該当者全員にお送りしますので、申込は不要です。
- ・配付方法 ヤマトのメール便にてお送りします
- ・配付内容 自己検診用手袋一式及び説明リーフレット

